

カムイワッカ地区における取組の進捗状況について

トピック

- ・コロナ禍の影響により、マイカー規制の当初予定（8月、25日間）を撤回し、8月7日間（従来形式）、10月3日間（新方式）で実施することとした。実施費用は環境省の国立公園誘客補助金を活用。
- ・8月は9日～15日の7日間を実施。規制区間は例年同様の知床五湖～カムイワッカ間とし、シャトルバス乗車人数は4,439人（昨年同期比：81%）となった。
- ・10月は2日～4日の3日間において、幌別（知床自然センター）～カムイワッカ間の車両規制を誘客イベントとして実施。同区間の車両規制は過去初めて。3日間のシャトルバス乗車人数は総計3,068人となった。
- ・観光客向けにヒトと野生動物との適切な距離をとる啓発事業展開中。9月4連休は、ウトロ道の駅で啓発キャンペーンを集中実施し、総計1,900人へグッズ配布等を行った。
- ・カムイワッカ湯の滝の一の滝以奥の利用のあり方について検討を開始。
- ・予定されていたカムイワッカ地区での落石防止工事は今年度行われなかった。
- ・硫黄山登山口間の道路特例使用制度を6月19日～9月27日まで101日間運用。

1. カムイワッカ地区自動車利用適正化対策

(車両規制に係る経緯)

- ・緊急事態宣言の対象が全国に拡大するなか、予定通りの事業実施が難しいとの判断のもと、事務局で対応を協議。中止も視野に事業見直しを行うこととした。
- ・7月3日にカムイワッカ部会（第13回）を開催し、今年度のマイカー規制のあり方を協議。中止とはせず、従来とは異なる形式での取組とすることを決定。8月は期間を短縮し、従来形式で7日間を実施。10月の2日～4日の3日間において、知床自然センター（幌別地区）からカムイワッカ間のマイカー規制と無料シャトルバス運行を試行的に行うこととした。実施にあたっては誘客に繋がる魅力ある取組みとし、その費用は外部から調達することとした。環境省の国立公園誘客補助金に応募。

(実施結果)

- ・別紙参照。

(規制期間外の混雑対策)

- ・車両規制期間外において混雑が予想される連休等は関係機関が協力し交通誘導を実施。
- ・7月4連休と9月の4連休はいずれも利用が集中し、知床五湖やカムイワッカで混雑、渋滞が発生した。特に、9月4連休は知床五湖駐車場において約2,000mの入場待ちが発生。

(キャンペーンの実施)

- ・コロナ禍のキーワードを逆にとり、「ニンゲンもクマも距離感が大切」をメッセージとした「知床ディスタンスキャンペーン」と銘打った普及啓発キャンペーンを実施中。具体的にヒグマとの距離感を計ることのできる「ディスタンスカード」等の啓発グッズを配布中。
- ・9月4連休には、ウトロ道の駅において集中キャンペーンを実施。総計1,900人へグッズ配布等を行った。

2. 硫黄山登山口利用

- ・道道知床公園線カムイワッカ以奥は落石の恐れがあるため2006年より通行止めだが、硫黄山登山口までは2011年度より道路特例使用制度を運用し、申請した登山者に限り徒歩による通行を認めている。2020年は、6月19日～9月27日まで101日間運用した。
- ・登山者用駐車場スペースの周知強化など、登山者駐車対策を実施。

3. カムイワッカ湯の滝の利用

- ・令和2年度のカムイワッカ湯の滝の利用は、2006年度以降の運用と同様に、一の滝上部までを供用区間とし、道道知床公園線の供用期間に合わせて6月1日から利用可能となった。

4. 一の滝より奥の利用について

- ・7月27日 知床斜里観光協会会長より四の滝までの利用について危険箇所の再調査やルール作りについての検討を要望。
- ・8月27日 カムイワッカ部会事務局幹部会議を開催。利活用法は専門家に意見を求めた上で、今後のスケジュールを含め、モニターツアー等の利用ルールをカムイワッカ部会で検討することを確認。
- ・9月10日 地質の専門家2名を招き現地調査を実施。現地踏査の報告書を専門家・行政機関からの意見をもとに作成する。今後、利用ルールをカムイワッカ部会に提案する。

5. カムイワッカ部会の開催状況

- 第13回カムイワッカ部会：2020年7月3日
 - ・2020年度マイカー規制期間を再協議し、決定した。環境省の国立公園誘客補助金を活用し事業を実施することを確認した。
 - ・野生動物とビジターとの安全な距離の目安を普及するキャンペーンの実施方針が決定した。
 - ・北海道が予定していた落石防止工事は、今年度施工されないこととなった。
- 第14回カムイワッカ部会：2020年12月（予定）
 - ・翌年度以降のマイカー規制等のあり方について検討予定。
 - ・一の滝以奥の利用のあり方について検討予定。

6. 知床区立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会の開催状況

- 2020年度連絡協議会：1回目 2020年度6月9日（書面）、2回目 7月3日
 - 以下の議題について、検討・報告を行った。
 - ・2019年度自動車利用適正化対策実施結果について
 - ・2019年度収支決算報告及び会計監査報告について
 - ・2020年度実施計画及び収支予算案について
 - ・ルンチャ治山工事の経緯と令和2年度の実施状況について

7. カムイワッカ地区の整備について

- ・2014年にカムイワッカの滝周辺の仮橋が撤去され、平成27年から滝500m手前のバス旋回場の運用が開始。現在のところ、特段の支障は生じていない。
- ・網走建設管理部は落石防止のため①2020年8月26日から11月末までゲート手前の落石防止柵、②令和2年度以降の数年間、ゲート以奥の斜面の工事を予定していたが中止となった。

2020年度 自動車利用適正化対策事業の結果について

1. 8月（7日間）の実施結果

(乗車人数)

表. 8月シャトルバスの乗車実績（2016年～2020年）

	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年
8/1		271	254	176	277
8/2		258	235	274	136
8/3		333	298	298	353
8/4		376	472	313	329
8/5		375	270	363	355
8/6		393	377	339	324
8/7		432	414	355	349
8/8		382	343	390	416
8/9	646	213	217	559	202
8/10	523	701	415	531	411
8/11	704	736	490	700	604
8/12	695	725	984	918	1090
8/13	642	1132	1103	885	809
8/14	886	1204	1010	947	995
8/15	343	792	506	975	220
8/16		672	422	860	300
8/17		284	58	674	36
8/18		401	659	469	148
8/19		324	582	317	160
8/20		273	280	317	184
8/21		235	314	287	3
8/22		246	262	272	36
8/23		170	316	309	34
8/24		255	251	250	254
8/25		299	232	297	278
合計(全期間)	4,439	11,482	10,764	12,075	8,303
平均(全期間)	634	459	431	483	332
合計(7日間)	4,439	5,503	4,725	5,515	4,331
平均(7日間)	634	786	675	788	619

- 7日間の合計は4,439人となり、過年度の同期と比較すると1割強の減少となったが、想定以上の乗車実績であった。ピークは14日の886人であり、同日は五湖で600m以上の入場待ちが発生し、自然センター駐車場も満車となった。混雑対策にも有効に機能した。

(コロナウイルス対策)

- 座席を44席に制限し、乗客にはマスクの着用をお願いした。概ね乗客は協力的だった。
- コロナウイルス対策に関する苦情等はほとんどなかった。

(ガイドによる解説)

- 期間中4日間、自然ガイドによる解説を試行した。午前便の自然センター～五湖間を中心に社内での自然解説、利用のルールに関する普及啓発を実施した。

2. 10月（3日間）の実施結果

（乗車実績）

		10月2日	10月3日	10月4日	計	
A 道の駅から 道の駅～五湖	道の駅から	132	309	291	732	34.5%
	自然Cから	358	500	530	1,388	65.5%
	小計	490	809	821	2,120	
B 五湖～カムイワッカ		175	335	327	837	
C 自然センター～岩尾別		33	30	16	79	
D ウトロ市街地巡回		6	14	12	32	
乗車延べ人数		704	1,188	1,176	3,068	

- 3日間で総計 3,000 人超の乗車実績。日別には 10 月 3 日と 4 日が多かった。区間別には、A 系統（道の駅～知床五湖間）が最も多く 2,120 人だった。五湖を訪れた利用者の約 4 割がカムイワッカ行きの B 系統のバスを利用。
- 乗り換え拠点として知床自然センターに加え、ウトロ道の駅を活用。乗り換え比率は 65：35 となった。駐車場所を分散することで自然センター駐車場が満車になることはなかった。

（施設等実績）

	2日	3日	4日	計
知床自然センター	1,532	2,425	2,337	6,294
昨年同期比	191%	262%	199%	217%
フレペの滝遊歩道	325	351	343	1,019
昨年同期比	153%	182%	91%	130%
ウトロ道の駅	1,630	3,615	3,402	8,647
昨年同期比	80%	169%	131%	128%
世界遺産センター	287	572	636	1,495
昨年同期比	60%	83%	123%	89%
知床五湖高架木道	1,091	1,331	1,335	3,757
昨年同期比	81%	116%	72%	86%
知床五湖地上歩道	302	384	382	1,068
昨年同期比	288%	480%	75%	154%

*昨年同期は、10月1週目の週末（2019年10月4日～6日）で比較

- 乗り換え拠点である、道の駅・自然センターの来館数は大幅に増加した。どちらもイベント開催による集客効果も大きい。
- フレペの滝遊歩道、五湖地上遊歩道も増加した。一方、五湖高架木道の利用総数は約 15%減少した。ただし、天候やヒグマ閉鎖、コロナウイルス等複数要因があるため、単純比較は難しい。

(魅力の向上)

- 車両規制とシャトルバスの運行全体を「知床オータムフェス」と銘打ち、環境保全と誘客を兼ねたイベントとして実施した。道の駅では食のイベント「ミニマルシェ」を開催し、多くの来訪者が訪れた。
- 「ネイチャーガイドバス」として知床自然センターから知床五湖間を運行するシャトルバスには、地元ガイドが同乗し、野生動物観察や利用方法等の解説を行った（午前便のみ）。累計48便において1,171人が乗車した。シャトルバスからヒグマを観察する機会もあった。
- 別途、モニターツアーとして岩尾別孵化場を見学するツアーを3日・4日の2回実施した。注目度も高く、いずれの回も満員となり、総計47名が参加した。



ネイチャーガイドバス



知床五湖での乗り換えのようす



ツリーイング等のアクティビティも実施



盛況だった岩尾別孵化場のツアー

令和2年10月9日

知床国立公園におけるマイカー交通規制に関わるモニタリング調査の進捗について

知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会
北海道大学大学院農学研究院花卉・緑地計画学研究室

調査目的

知床オータムバスデイズで取り組まれた幌別からカムイワッカ湯の滝までのマイカー規制の効果を、利用者の動態および意識から検証することを目的とした。そのため、従来の規制期間、規制外期間との比較を行う。

また、イベントやキャンペーンの認知度、コロナ対策への意向、ヒグマの観察方法、混雑感などの意識、駐車場の利用状況と滞在時間の把握を行うことによって、今後の様々な対策を検討する際の参考となるデータを得ることを目的とした。

調査期日

マイカー規制期間	8月10-15日(6日間)
規制外期間	9月19-22日(4日間)
知床オータムバスデイズ期間	10月2-4日(3日間)

調査内容

アンケート調査：各期間における訪問者・シャトルバス利用者に、知床五湖・道の駅・知床自然センター・カムイワッカ湯の滝において、郵送及びWebサイト(8月のシャトルバス利用者のみ)での回答を依頼した。質問項目は、シャトルバスの利用実態、利用の感想、利用において重視すること(アクセス、時間、ガイド、料金、コロナ対策など)、シャトルバスの運行方法・運行区間への意見、混雑感、オータムバスデイズの認知度、ヒグマとの望ましい距離などとした。

車両動態調査：規制外期間におけるカムイワッカ湯の滝駐車場の駐車台数および滞在時間を把握するため、駐車場入り口における車両と番号の記録を行った。同時に渋滞最後尾における車両と番号の記録を行った。また、知床自然センター駐車場入り口において、自動撮影カメラで、入退場する車両を撮影した。

アンケート配布・回収状況

配布時期	配布数	回収数	回収率 (%)
8月郵送	700	347	49.6
8月Web	498	110	22.1
9月郵送	800	347	43.4
10月郵送	800	192	24.0

2020年10月9日現在

今後の予定

アンケートの各期間ごとの回答を集計するとともに、期間・居住地・認知度などによる回答の比較を行う。分析結果の速報を、次回の協議会またはカムイワッカ部会で予定する。

カムイワッカ湯の滝および知床自然センターの駐車場の利用状況、照合可能な車両の滞在時間を集計し、滞在時間の延長などの影響を推計する。カムイワッカ湯の滝のトレイルカウンターの結果との照合も行い、歩行者の変動と混雑感との関連の解析も行う。